

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料5-1

平成28年1月●日

協議会名： 武豊町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
知多乗合(株)	コミュニティバス 基幹線 右廻り(緑)	平成26年度も対前年比で利用者数が増加し、目標値を上回り、主な課題が見られなかったため、事業内容は原則踏襲することとした。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	B	1年間の利用者数による目標値7,240人以上に対して、6,210人の実績となり目標値を達成できなかった。加えて、対前年比でも利用者が減少しており、ルート変更の必要性が確認された。  緑ルートの利用が芳しくないため、赤ルートとの事業統合を検討し、平成27年9月末をもって廃止・統合することとした。
知多乗合(株)	コミュニティバス 基幹線 左廻り(緑)	同上	A	同上	A	1年間の利用者数による目標値5,390人以上に対して、5,780人の実績となり目標値を達成した。ただし、他ルートと比較して最も利用が少ないルートであり、ルート変更の必要性が確認された。  同上
知多乗合(株)	コミュニティバス 北部線 (赤)	同上	A	同上	A	1年間の利用者数による目標値16,640人以上に対して、17,189人の実績となり目標値を達成した。これまで順調に利用が増加している。  緑ルートの利用が芳しくないため、赤ルートとの事業統合を検討し、平成27年10月から、新しいルートにて増便する運行内容に転換することとした。
知多乗合(株)	コミュニティバス 南部線 (青)	同上	A	同上	B	1年間の利用者数による目標値8,390人以上に対して、8,029人の実績となり目標値を達成できなかった。ただし、対前年比では概ね横ばいとなっている。  緑ルートの利用が芳しくないため、路線の再編を行い、平成27年10月から、新しいルートにて増便する運行内容に転換することとした。